

仙台市民交響楽団 第77回定期演奏会

Alexander Borodin
1833-1887



Program

ボロディン／歌劇《イーゴリ公》より「ダツタン人の踊り」
グラスノフ／ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品82
チャイコフスキー／交響曲第5番 ホ短調 作品64



SENDAI
INTERNATIONAL
MUSIC
COMPETITION



指揮／松井 慶太



ヴァイオリン独奏／
スティーヴン・キム

(第6回仙台国際音楽コンクール第2位入賞者)



Peter Ilyich Tchaikovsky
1840 - 1893

2017. **11/26** sun.

日立システムズホール仙台
コンサートホール
(仙台市青年文化センター)

開場 13:00 / 開演 14:00



Aleksandr
Glazunov
1865-1936

The 77th

Sendai city symphony orchestra The 77th Regular Concert

Concert

●前売券／一般 1,000円・高校生以下 500円 (全席自由)

●当日券／一般 1,300円・高校生以下 700円

※無くなり次第、販売終了となります。当日券のご予約・お取り置きは出来ません。

※本公演は未就学児のご入場をお断りします。なお、右記の通り託児サービスを実施しますので、ご利用下さい。

●プレイガイド／仙台三越・藤崎・ヤマハ仙台店・カワイ仙台ショップ・サンリツ仙台本店・
仙台市市民文化事業団(日立システムズホール仙台1階)・仙台銀行ホール イズミティ21

●オンラインチケット

チケットぴあ(Pコード:341-473)、ローソンチケット(Lコード:23054)

イープラス:[PC/携帯] <http://eplus.jp> [直接購入] ファミリーマート

■主催／仙台市民交響楽団

■共催／公益財団法人 仙台市市民文化事業団(仙台国際音楽コンクール事務局)

■後援／宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・TBC 東北放送・河北新報社・エフエム仙台

♪託児サービスを実施します♪

生後6ヶ月から未就学児童までのお子様を、お一人500円でお預かりいたします。(定員/15名。申込締切11月12日(日)、先着順です。)お申込みは、下記お問合せ先まで、お電話かメールでお申込み下さい。

●お問合せ／

☎070-5475-5982 (仙響専用)

E-mail : senkyo0908@pdx.ne.jp

※電話が繋がらない場合は、留守電メッセージをお願い致します。メールでもOKです！折り返しご連絡いたしますので、非通知設定は解除をお願い致します。

◎ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい。

(市営地下鉄南北線「旭ヶ丘駅」下車、東1番出口より徒歩3分)

仙台市民交響楽団 第77回定期演奏会

Sendai city symphony orchestra The 77th Regular Concert

PROFILE



指揮/松井 慶太

1984年、青森県八戸市生まれ。3歳よりピアノ、15歳よりオーボエを学ぶ。16歳の時、ピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。2006年、韓国で行われたAsia Philharmonic Orchestraに参加し、指揮をチョン・ミョンファンに師事。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。

これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、ピアノを島田玲子、宮原節子、オーボエを安原理喜、音楽理論を久田典子の各氏に師事。

第15回「東京国際音楽コンクール」<指揮>入賞、奨励賞受賞。

また、ハンガリーのブダペストにて、Duna Symphony Orchesterを、チェコのプラハにて、プラハ交響楽団室内オーケストラを指揮し好評を博す。

国内では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、仙台フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を指揮。2008年～2014年には、NHK交響楽団定期演奏会(シャルル・デュトワ指揮:ストラヴィンスキー「エディプス王」、ヤナーチェク「グラゴル・ミサ曲」、ブリテン「戦争レクイエム」、マーラー「一千人の交響曲」、ファビオ・ルイーダ指揮:オルフ「カトゥーリ・カルミナ」「カルミナ・ブラーナ」等、東京混声合唱団)の合唱指揮者として公演を成功に導いた。

2011年4月、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスに就任。同楽団とは「水のいのち」fontec/EFCD-4178、「クリスマス合唱名曲集」Octavia Records/OVCL00478をリリースしている。

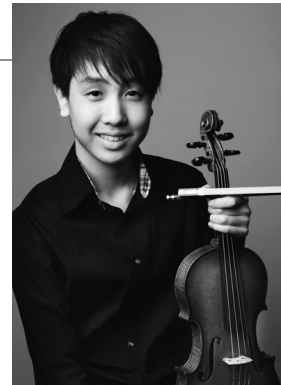
ヴァイオリン/スティーヴン・キム

ヴァイオリニスト・スティーヴン・キムの演奏は、メディアからも高い評価を得ており、13歳の時のサンフランシスコのデービスホールでの演奏は、「フレージングの完成度が、ユーディ・メニューインのようにロマンティックな趣に満ち溢れている」(サンフランシスコ・クラシカル・ヴォイス)、「楽器を介して炎のような情熱を伝える伝道者」(アスペン・タイムズ)等と評されている。ソリストとして、アスペン・フィルハーモニー管弦楽団等、アメリカの数多くのオーケストラのほか、仙台フィルハーモニー管弦楽団、韓国のスウォン・フィルハーモニック・オーケストラと共演している。

アスペン音楽祭では、ブラームス・ヴァイオリン・コンチェルト部門(2014)、ドロシー・ディレイ奨学金最年少受賞(2013)、AACAモーツァルト・ヴァイオリン・コンチェルト部門(2011)の3つの部門を史上初めて制覇した演奏家である。また、ユーディ・メニューイン国際青少年ヴァイオリンコンクール・シニア部門(2014)やソウル国際音楽コンクール(2015)を含む主要な国際ヴァイオリンコンクールで入賞している。2016年には、第6回仙台国際音楽コンクールで第2位入賞を果たした。

2016年12月から2017年1月にかけては、カーティス・チェンバー・オーケストラとモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番を共演、アメリカ国内9カ所にて演奏。2017年夏には、スイスのヴェルビエ・フェスティバル・アカデミーに参加するなど、アメリカ、カナダをはじめ、ヨーロッパ、アジアの様々な地域で演奏活動を行っている。

現在、ジョアン&アーウィン・ジェイコブズ奨学金を得て、カーティス音楽院にて、シュミュエル・アシュケナージ、アーロン・ロザンド各氏に師事。また、同院で故ジョセフ・シルヴァースタイン氏から学んだ。使用楽器は、サムスン文化財団及びストラディヴァリ・ソサエティ・シカゴより貸与された1725年製ガールネリ・デル・ジェス("ex-Moller")。



仙台市民交響楽団

1969年(昭和44年)10月、在仙高等学校の生徒有志を中心に仙台ユース・シンフォニー・オーケストラとして発足。指導者の交代、団員の減少等による幾度かの消滅の危機を乗り越え、新田 孝先生(現:名誉指揮者)により活動団体としての礎を築いて頂いた。1990年(平成2年)、仙台市民交響楽団に名称を変更。

1997年以降は、各方面から客演指揮者を迎え、また仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーをトレーナーとして迎えるなど、ますます発展を遂げている。

当団では、仙台市が仙台国際音楽コンクールを開催するなど「楽都仙台」の実現に向け行政と市民が一体となって取り組む中、市民レベルで音楽文化の向上につながるよう、そして市民が音楽のすばらしさを実感し、音楽によって暮らしの中に潤いを感じられるよう、多くの方にその機会を提供していきたいと考えている。

活動としては、年に2回の定期演奏会の実施。他に、在仙の合唱団との共演、仙台国際音楽コンクール関連事業や市民センター等の依頼演奏等。

2008年及び2013年10月、仙台クラシックフェスティバルに出演。2012年1月、七ヶ浜コンサート開催、2012～2017年3月11日、南三陸町追悼式典にてBGM演奏等、その他福祉施設にてメンバーによる出張演奏等。

2015年8月、平成26年度宮城県芸術選奨受賞。